



Title	大阪外国語大学アジア太平洋論叢 第7号 編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1997, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99764
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

本号は、1995年度より三ヵ年計画で実施している科研共同研究プロジェクト「『アジア・太平洋圏』文明の構築をめざして—相互認識を通しての共通の価値観の模索」(代表：赤木攻)の第二年次の研究成果の一部を収録している。本格的な研究成果は、来年春に最終報告書として別途刊行する予定で準備を進めている。

本号に対して、内外の多くの研究者から、特に海外の学界の第一線で活躍中の研究者から、レヴェルの高い諸論考が寄せられたことに深く感謝したい。昨年度から、諮問委員会と編集委員会を新たに設置し、学問的交流のネットワークを着実に広げてきたが、その成果は、本号に掲載された諸論考と「活動記録」に反映されている。

共同研究では、アジア太平洋地域の現状を、(1)経済統合の進展、(2)安全保障問題、(3)文化・文明の「融合」という三つの側面から検討しているが、そうした現状分析・認識と並行して、アジア太平洋地域の歴史的発展過程の研究も重視してきた。この点は、特に1996年4月と11月に実施した二度にわたる大掛りなワークショップに凝集されている。その研究成果も、来春に別途、研究論集として書店から刊行される予定である。

昨年度に引き続いて、大学附置の「アジア太平洋地域」関係機関の調査報告を掲載することができた。御多忙にもかかわらず、聞き取り調査の過程で御協力いただいた皆さんに心よりお礼申し上げます。今後、本学の研究体制の整備・拡充、特色ある地域研究・外国研究の実施、地域社会との連携・協力を考えてゆくうえで、調査対象の諸機関が展開されている多彩な活動は多くの示唆を与えてくれる。

大阪外国語大学アジア太平洋研究会(KIAPS)は、昨年度、アメリカ合衆国のミシガン州立大学(MSU)に本拠を置く、全米最大のインターネット学会であるH-NETと学術交流協定を結び交流を深めている。本学でワークショップを開催すると共に、昨秋には視察を兼ねて代表団を送ることができた。全米でも有数の広大さを誇るミシガン州立大学の美しいキャンパス、あらゆる便宜を図っていただいた歴史学部のスタッフの方々の熱意、そしてMSU首脳部との懇談は、忘れがたい貴重な交流の経験になった。今後ともKIAPSが、こうした国際交流の橋渡しをできれば幸いです。

最後に、本号の編集に御協力いただいた方々、研究会の多彩な諸活動に参加され力添えをいただいた方々、特に事務処理の面で研究会を支えてくれた大阪外大・会計課総務係の松月さんに、改めてお礼申し上げます。

(秋田記)

HISTORICAL ABSTRACTS および *AMERICA: HISTORY
AND LIFE* に本誌の要約・索引が掲載されています。

大阪外国語大学

アジア太平洋論叢 第7号

科研「『アジア・太平洋圏』文明の構築をめざして
ー相互認識を通しての共通の価値観の模索ー」
(代表：赤木 攻) 第二年次中間報告書

1997年3月31日 発行

編集兼 大阪外国語大学アジア太平洋研究会
発行者 (会長・赤木 攻)

〒562 箕面市粟生間谷東8-1-1

☎0727-30-5111

印刷所 (株)アイジイ

〒531 大阪市北区豊崎7-7-101

☎06-371-0321